

問題解決力を身に着け、職場全体を見渡す視点と判断力を持った中堅社員・職場リーダーへ

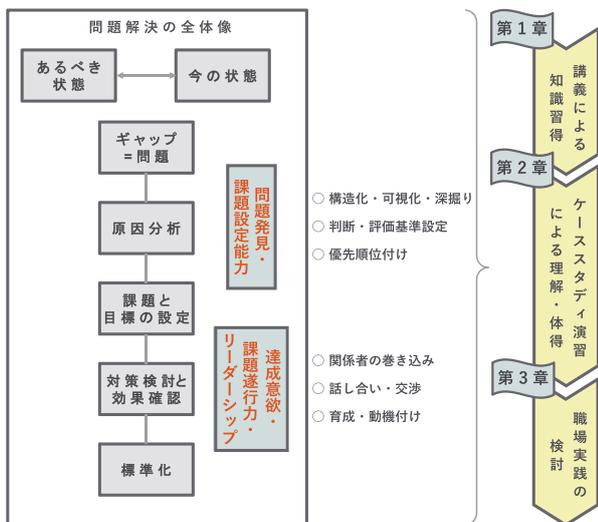
日本生産性本部主催【ケーススタディで学ぶ】問題解決力向上研修

1日
(7時間)

期待される効果

現場で起こる問題に優先順位をつけ、解決を即座に実行できる能力を身に付けられます
 職位が上がるにつれて重要性・必要性が増していく「職場全体を見渡す視点」や「的確な判断力」について、早い段階から鍛えられるような癖をつけることができます

プログラム構成



講師のコメント 三澤 勇介



この研修は、職位が上がるにつれて重要性が増していく「問題解決力」を、ケース事例を題材にしなが実践的に学べるように設計されています。
 主なポイントは次のとおりです。

- ケースを基にした検討・議論中心のプログラム
 - ・いわゆる話を聞くだけの研修ではありません。ケーススタディを柱に、参加者同士のグループ討議を中心に進めていきます。
 - ・自分で考え、グループ討議にて話し、より良い結論にもっていきます。このプロセスで多くの気づきが生まれます。
- 議論やフィードバックを通じ、「客観的に見た自分」に気づく
 - ・参加者、グループメンバー、講師フィードバックから他者と自分の違い（考え方や職場行動など）に気づけます。
 - ・各人で能力診断していただき、自分の強み・弱み、クセなどを明確にすることで、職場実践のうえで何に気を付ければよいかも持ち帰ることができます。

受講者の声

- 表面的なことではなく、問題の真因が何なのかを抽出することが最も重要だということが分かった。
- 解決を実践するためには優先順位を付ける力を鍛えることが重要だと身にしみて感じた。
- 自分の仕事に集中するだけでなく、他者（後輩や部下）への働きかけがリーダーや中堅社員には必要だということに気付けた。

開催日程とスケジュール

通い1日
 2025年
 第6回 7月15日(火)
 2026年
 第7回 2月10日(火)

9:30

9:30 開始

1. 問題解決の基本的な考え方

- ・問題とは何か—問題はどこにある？
- ・問題と課題—職場、自身の問題を整理する
- ・問題解決のステップ
 - 問題解決の論理
 - 職場における問題解決の実際
 - 問題解決の各種手法

- ・発表内容への講師フィードバック
- ・問題の優先順位、問題リスク
 - 優先順位、リスク、目標設定
 - リーダーシップとチームワーク
 - 実行改善策

【演習】ケーススタディの再検討
 - グループでの検討内容修正討議
 【演習】能力診断セルフチェック

2. ケーススタディ

- 【演習】ケーススタディ検討
- 個人検討
 - グループ討議
 - 全体発表

3. 職場実践に向けて

- ・「職場実践への第一歩」の発表

17:30

17:30 終了

1名あたり参加費 (消費税10%込)	商工研会員	一般(参考)	昼食のご用意は ございません。	講師：日本生産性本部 主任経営コンサルタント 三澤 勇介 会場：日本生産性本部セミナー室(東京・永田町) 他 定員：24名
	39,600円	44,000円		

本研修受講後の推奨プログラム

- ① ロジカルシンキング研修
- ② 改善のプロから学ぶ 実践型業務改善研修
- ③ 多角的視点でユニークなアイデアを創出 発想力向上研修